

イ 教職員会議

- 期 日 各教育事務所ごとに1日実施
- 対 象 登校拒否児童生徒在籍学校教員 200名

ウ 啓発資料

- 資料名「全ての児童生徒に 楽しい学校生活を」
- 配布先 全小中学校教員、全小中学校、幼稚園、市町村教育委員会等

(2) 進路指導

① 指定校による研究推進

ア 只見町立朝日中学校(校長 湯田耕衛)

- 指定 県教育委員会 平成2～3年度
- 研究主題 「よりよい生き方を求め、自己実現をめざす進路指導はどうあればよいか」

② 進路指導に関する研修会

ア 文部省主催

- 研修会名 平成2年度進路指導講座(中央講座)
- 期 日 平成2年6月4日(月)～6月9日(土)
- 会 場 筑波大学
- 参加者 猪苗代町立吾妻中学校教諭 渡部和俊
原町市立原町第三中学校教諭 高野逸夫

イ 県教育委員会主催

- 研修会名 平成2年度進路指導講座
- 期日、会場、参加者等
第5章第2節5 生徒指導・進路指導の項参照

7 幼稚園教育

本年度は幼稚園教育の振興施策の推進と市町村教育委員会の努力により、新設幼稚園が2園開設し公立幼稚園239園、5歳児の就園率が76.4%(全国平均64.0%)で全国第8位となっている。

しかし、幼稚園未設置町村並びに幼稚園の不足する町村の解消、就園率の地域間格差の是正、教育内容・方法の充実など、問題も山積している。

本年度は、全面実施となった新教育要領の円滑な実施に向けての指導資料の作成配布及び教員の資質向上並びに指導力の高揚を図る指導者講座を新規に実施した。

また、幼稚園教育の一層の振興を図るため市町村教育委員会、福島県公立幼稚園研究会並びに財団法人福島県全私立幼稚園協会等の協力を得て、次の事業を実施した。

(1) 幼稚園教育課程都道府県研究集会

- ① 主 催
福島県教育委員会、福島県公立幼稚園教育研究会
- ② 期 日
平成2年10月2日～31日のうち1日
- ③ 会 場
県北・県中・県南・会津・相双・いわきの6地区
- ④ 研究主題
(統一主題) 幼稚園生活を通して、幼児が発達に必要な経験を積み重ねていくには、環境の構成をどのように理解し、行えばよいか。
(分科会主題) 統一主題について、次のような観点から研究する。

- A 教師と触れ合い、安定感をもって行動するようになるには、どのような環境が必要か。
- B 友達と一緒に遊びや仕事を進める楽しさを知るようになるには、どのような環境が必要か。
- C 季節により自然や人々の生活に変化があることに気付くようになるには、どのような環境が必要か。
- D 身近な物に親しみ、工夫して遊ぶようになるには、どのような環境が必要か。

- ⑤ 参加者数 1,058名(6地区合計)

(2) 幼稚園教育課程研究発表大会

- ① 主 催 文部省
- ② 期 日 平成3年2月7日～8日
- ③ 会 場
全体会 イイノホール(東京都)
分科会 オリピック記念青少年総合センター

- ④ 本県からの参加者 8名

(3) 北海道・東北地区幼稚園教育課程運営改善講座

- ① 主 催 文部省、福島県、福島県教育委員会
- ② 期 日 平成2年11月8日～9日
- ③ 会 場 福島市「あづま荘」
- ④ 本県からの参加者 15名

(4) 幼稚園教育指導者講座

- ① 主 催 福島県教育委員会
- ② 期 日 平成2年8月20日～22日
- ③ 会 場 福島県教育センター
- ④ 受 講 者 50名
- ⑤ 内 容 講義、協議、実技、演習
- ⑥ 講 師 福島大学教育学部 教授 西久保禮造

(5) 幼稚園実技講習会

- ① 主 催 文部省、福島県教育委員会
- ② 期 日 平成2年7月31日～8月3日
- ③ 会 場 福島大学教育学部
- ④ 受 講 者 65名
- ⑤ 内 容 保育内容に関する科目「実現」
付与単位 1単位

(6) 公立幼稚園新採用教員研修会

- ① 主 催 福島県、福島県教育委員会
- ② 会 場 各教育事務所が定めた所
- ③ 回 数 年6回実施(内2回は園内研修)
- ④ 参加者数 公立幼23名 私立幼114名 計137名
- ⑤ 研修内容 講義…教員としての心得 外
演習…長期・短期の指導計画の作成 外
保育参観…先輩の先生方の保育参観 外
園内研修…保育実習 外

(7) 幼稚園教育指導資料の作成配布

- ① 名 称 「教育課程編成の手引」
- ② 作成委員 幼稚園長・教諭及び指導主事 9名
- ③ 作成計画 5年計画
2年度 教育課程の編成
3年度 指導計画の作成
4年度 指導の在り方

- ① 幼児の発達の姿から